

第5回防災文化講演会を気仙沼市で開催しました（2014/9/19）

テーマ：第3回国連防災世界会議、HFA（Hyogo Framework for Action）
場所：気仙沼「海の市」2F コミュニティ・スペース

東北大学災害科学国際研究所は、防災・減災に関する情報や本研究所が取り組む災害科学研究の成果を発信するために、「防災文化講演会」と題した講演会を開催しています。第5回の講演会は、前回に引き続いて気仙沼市内の「海の市」を会場に、2014年9月19日（金）の夕方に開催しました。今回は、来年2015年3月に仙台で開催される「第3回国連防災世界会議」に関する話題提供を中心に、国際防災連携を担当する小野裕一教授（情報管理・社会連携部門）が講演を行いました。

小野教授からは「第三回国連防災世界会議の見どころ」というテーマで、同会議の参加者や議論のポイント、そして2005年1月に兵庫県神戸市で開催された第2回会議の成果として兵庫行動枠組（HFA; Hyogo Framework for Action）の成果とその後10年間の取り組みについて議論されていることなど、今後の世界レベルの防災・減災の取り組み方策にもふれながら同会議について情報提供させていただきました。

参加された皆様には大変熱心に意見交換にご参加いただき、第2回国連防災世界会議の成果に関すること、国際会議でも議論されている防災・減災の数値目標の導入に関すること、防災行動や避難に関する各国の文化観の違いなど、多数のご意見やご質問を頂戴し、小野教授は海外の災害事例や防災の取り組み、最近の国際会議の動向などを踏まえ回答と解説を行いました。

災害科学国際研究所では、気仙沼市内に気仙沼サテライト（気仙沼分室）を設置して防災文化講演会の開催、東日本大震災からの復興状況のアーカイブなどに取り組んで参りました。今後も気仙沼地方の調査・研究の実施と情報発信に取り組んで参ります。



小野教授による挨拶



講演の様子

文責：安倍 祥（寄附研究部門）